

事業用太陽光発電設備の使用前自己確認の研修(電気関係)

国立研究開発法人産業技術総合研究所（以下、産総研）再生可能エネルギー研究センター太陽光システムチームでは、福島県における再生可能エネルギーの導入促進のための支援事業費補助金「太陽光発電のO&M等の技術開発・人材育成拠点の形成」事業の一環として、福島再生可能エネルギー研究所（以下、FREA）に設置されている太陽光発電設備を活用し、オペレーション&メンテナンスの技術開発および人材育成を行っております。

今回は、事業用太陽光発電設備の使用前自己確認の方法についての研修を以下の要領で実施します。希望者はふるってご参加ください。

○開催時期：2022年10月12日(水) 13:00~17:00

○開催方式：会場開催

産総研 福島再生可能エネルギー研究所（FREA） FREA ホール（福島県郡山市待池台2-2-9）

○講師：東京電気管理技術者協会 千葉支部長 鉤 裕之 氏

○スケジュール（予定）

12:30-受付開始

13:00-13:10：本セミナーの趣旨説明 再生可能エネルギー研究センター 太陽光システムチーム 大関 崇

13:10-14:10：事業用太陽光発電設備の使用前自己確認の方法に関する講義（座学） 鉤裕之 氏
（実験室に移動、休憩）

14:20-15:50：実験室にて試験の実演 鉤裕之 氏
（FREA ホールに移動、休憩）

16:00-17:00：データのまとめ方に関する講義および質疑応答 鉤裕之 氏

○参加：無料

○募集人数：約20名

○参加資格：

福島県および近県に事業所／工場など関連がある企業、または福島県内の発電所においてメンテナンスの実績がある企業に所属している（企業の所在地は問わない）、以下に該当する者。

- ・電気工事士もしくは電気主任技術者の資格を有していること。
- ・太陽光発電設備の保守点検の経験があることが望ましい。
- ・すべてのスケジュールに参加可能であること。
- ・今後、太陽光発電設備の保守点検事業を継続して実施する意欲があること。
- ・参加者は福島県内で就業している方を優先し、参加人数によりその他の場所で就業している方を受け入れます（申込みはOKです）。

○必要なもの：

- ・電気作業用ヘルメット、低圧用（DC750/AC600）の絶縁保護手袋・長靴など

○参加方法

下記の WEB フォームより申し込みください。

- ・ 説明会への参加登録フォーム：<https://forms.office.com/r/yGkUNNBvtc>
- ・ 申し込み締め切り：2022年10月05日（水） 17:00
- ・ WEB フォームがご利用できない場合は、必要な情報を記載していただきメールでご連絡ください。
 - E-mail：M-FREA-pvsysat-om-ml@aist.go.jp
 - 件名：事業用太陽光発電設備の使用前自己確認の研修（電気関係） 参加
 - 氏名、ご所属、電話番号、E-mail アドレス
- ・ 参加方法については、2022年10月07日（金） 17:00 までにご連絡いたします。

その他お問い合わせ先：M-FREA-pvsysat-om-ml@aist.go.jp

講演者紹介

東京電気管理技術者協会 千葉支部長 鉤 裕之



2007年より千葉県にある太陽光発電所2か所の保安管理業務を担当し、現在6か所に上る。2015年、東京電気管理技術者協会に所属する有志とともに太陽光発電支援チーム「ソーラーSAT」を発足。電気保安に関する技術向上を図り、全国各地の現場で培った安全確保のためさまざまな知見やノウハウを蓄え、協会会報誌等への太陽光発電設備に関する原稿執筆を多数行っている。また、職業能力開発促進（ポリテク）センター千葉や日本電気協会関東支部では講師を務め、人材育成にも携わっている。

使用前自己確認の概要

発電設備を設置後、使用前に事業者自ら技術基準適合性を確認することを目的としたものです。現在は、500kW～2000kW 未満が対象ですが（2000kW 以上は工事計画届と使用前自主検査が必要）、昨今の法改正により、10kW 以上～2000kW 未満の高圧配電線に連系する太陽光発電所のすべてに使用前確認制度による自己確認を求められるようになります。

参考：第27回 産業構造審議会 保安・消費生活用製品安全分科会 電力安全小委員会

https://www.meti.go.jp/shingikai/sankoshin/hoan_shohi/denryoku_anzen/pdf/027_01_00.pdf